



SDGs 未来都市

2024
特別号

徳島市

SDGs Future City TOKUSHIMA



SDGs(持続可能な開発目標)は、貧困、不平等・格差、気候変動による影響など、世界のさまざまな問題を根本的に解決し、すべての人々にとってより良い世界をつくるために設定された、世界共通の17の目標です。

徳島市はSDGs未来都市として、2030年のSDGs達成に向けた取り組みを進めています。

特に、ジェンダーギャップの解消や民間事業者とのパートナーシップに力を入れており、多くの民間事業者と連携協定を締結して、ごみの減量やまちのにぎわいづくりといった分野で先進的な公民連携プロジェクトを実施するなど、着実に、その成果が実を結んでいます。

さらに、市民の皆さまが安心して、これまでどおりの暮らしを続けられるよう、また、未来を生きる次の世代に豊かな自然環境を引き継ぐため、2050年までに市域から排出される温室効果ガスを実質ゼロにする「ゼロカーボンシティ宣言」を行いました。

2030年のSDGs達成に向けて、今日できることから、私たちと一緒に取り組みましょう！



徳島市長
内藤 佐和子



徳島市ダイバーシティ経営企業認定制度

女性、若者、障害者、高齢者等の多様な人材をいかし、その能力を最大限発揮できる機会を積極的に提供するなど、ダイバーシティ経営を行っている中小企業等を「徳島市ダイバーシティ経営企業」として認定し、その取り組みを広く発信することで、多様な人材が意欲的に仕事に取り組める職場風土の醸成や、働き方の仕組みの整備向上を図るものです。

令和5年度は4社を認定し、令和5年11月16日開催の「徳島市SDGs未来都市フォーラム」にて表彰を行いました。

👑ダイバーシティ経営企業大賞／女性活躍推進賞 喜多機械産業株式会社



▲代表取締役社長 喜多真一さん。喜多機械産業株式会社は建設機械・資材の複合専門商社として、先端技術の建設機械・資材、環境保全のための施設・設備・土木工事工法の提供などを行っています。働きがい改革、健康経営、消費者志向経営、エシカル消費などにも積極的に、社内の取り組みを伝えるため、自身で動画を撮影するなど今風でスピード感ある対応も社員から慕われています。



◀代表取締役専務の辻紀子さん。



▲アロマの勉強会の様子。集中力をアップさせたり、リラックスさせることができる香りの効果が「事故防止やオンオフの切り替えなど、仕事に役立つのでは？」と社員の提案で勉強会を行っています。

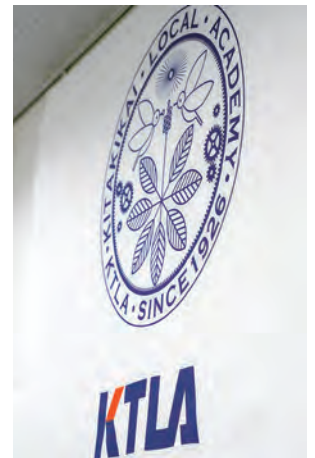
一人一人が個性をいかし、輝ける場所に

若者の採用・育成に積極的で、若者の雇用管理の状況などが優良な中小企業を厚生労働大臣が認定する「ユースエール」、子育てサポート企業として高い水準をクリアした証である「プラチナくるみん」、健康経営における優良な取り組みを実践している法人を顕彰する「健康経営優良法人ブライツ500」の3年連続認定など、実績ある徳島市ダイバーシティ経営企業『喜多機械産業株式会社』。

今年度は不妊治療に関する就業規則も制定。介護や通院なども含め、「プライベートなことなので話しにくいとは思いますが、一人で悩みを抱え込まないようにしてほしい」という代表取締役専務の辻紀子さん。孫の看護のための時短勤務もOKで、「会社としてできることをしよう」と寄り添う気持ちでそれぞれに対応するうち、さまざまなサポート体制が自然と増えているといいます。こうした社員を大切にする姿勢は、ES(社員満足度)3年連続増加、勤続50年を超える人や兄弟、親子二代にわたって勤務する人の多さなどにも表れています。

また能力や意欲に応じて、スキルアップにつながる研修も充実していて、その核となっているのが知識や技術を継承する社内アカデミー『KTLA』です。社員が講師になり、互いに教えあうスタイルで、個性や潜在能力を引き出し、共に成長することを目的としています。この他、社員の発案によるアロマジェネリストの資格取得やエシカルコンシェルジュの育成講座もあり、興味のある人は誰でも参加できるため、部門を超えたコミュニケーションの場にもなっています。

『喜多機械産業株式会社』は1961年の設立当初から、「仕事に男や女や、関係ない。仕事ぶりをみよる」という初代社長の想いのもと、働き方を重んじる風土が、育まれてきました。こうした想いが基盤となり、幅広い人材が各自の特性や能力をいかして活躍することで、新たな価値創造につながっています。



▲KTLA(KITAKIKAI LOCAL ACADEMY)の校章。森火事に一滴ずつ水を運ぶハチドリ物語『ハチドリのはとすく』と、藍の織機修理から始まった会社の歴史をモチーフに藍の葉がデザインされています。



本社所在地
徳島市庄町三丁目16
TEL:088-631-9266
<https://kitaikai.co.jp/>



船場化成株式会社

徳島市で60年以上、ポリエチレンフィルムを製造しており、工業用や食品用、DMやファッションバッグなど包装資材を主力に、2019年(令和元年)には新たにバイオマス原料を使用した新商品を開発。資源を有効活用し、炭素排出量実質0を目指した事業運営に注力しています。外国人技能実習生の積極的な受け入れや障害者の雇用促進など、多様な人材を雇用することで経営課題の解決に取り組んでいます。



株式会社グローバル・アシスト

薬の調剤や服薬指導、介護用品の販売・レンタル、住宅改修やケアプラン作成、ヘルパー派遣、高齢者賃貸マンション事業などを手掛け、地域の福祉、医療を支えて25年。社員の約8割が女性で、育児をしながらキャリア形成を行うための支援強化や高齢社員の働き方をサポートするワークシェアリング方式を採用し、多様な世代の活躍推進や地域社会への貢献を目指しています。



アクシスグループ 株式会社マネジメント・スタッフ

会計事務所としての基本業務から顧問先事業所(法人・個人事業)の経営分析やアドバイスなどさまざまな経営相談に対応するため、多様なキャリアを持つ人材を採用しています。社員の事情に合わせて勤務時間帯の変更や、在宅勤務を積極的に取り入れ、新規採用者には実践的な研修を行い、人材育成を図ることで定着につなげています。

阿波女あきんど大賞

阿波女あきんど大賞とは、徳島の地域経済の活性化と女性の社会進出を支援するため、本市が各業界を代表する女性経営者とともに結成した「阿波女あきんど塾」が、阿波女の知恵と活力をいかし、徳島の経済活性化のため、活発に経済活動に取り組み、挑戦し続け、活躍している女性を応援する事業です。

女性の視点でプロジェクトの推進、商品開発等に取り組む経営者を表彰する「経営者部門」、女性が働きやすい職場環境の整備を行い、継続した意識改革を自社に対して働きかけている個人やグループを表彰する「個人・グループ部門」の2つを募集・審査しました。

2023年はSDGsが目指す「誰一人取り残さない社会」の実現に向けて取り組む2人の女性が表彰されました。

詳しくは
徳島市公式
noteへ



阿波女あきんど大賞 経営者部門

株式会社ハビリテ
代表取締役

太田恵理子さん



▲現在、児童発達支援事業所「おやこ支援室 ゆずりは」、医療的ケア児や重度の障害がある子どもを預かる「ゆずりは plus」、徳島市の認可保育園「ゆずりは保育園」と「リラクゼーションサロンゆずりは」の4つの事業所を運営する太田さん。

障害にまつわる絶望を希望に変える おやこを照らす光に

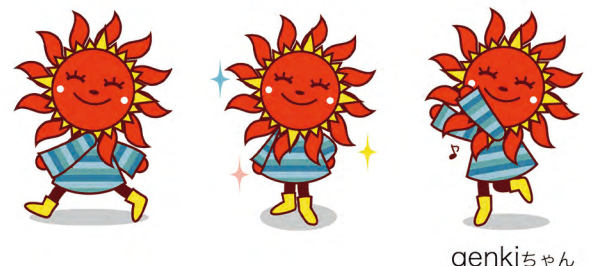
「新生児救命救急医療の発達に伴い、今まで生きられなかった命が救われています。これは非常に嬉しく、ありがたいことですが、医療の進歩に保育環境が追いついていない。ケアが必要なお子様の行き先、預かり先が日本に足りていない」という太田さん。障害のあるお子さんを育てながら、自身がフルタイムの仕事辞めざるを得なかった体験から、同じような境遇にある人をサポートする療育施設を作ろうと2018年11月に起業。2022年4月1日には『ゆずりは保育園』を開園しました。

園内には認可保育園と医療的ケア児や重度の障害のある子どもを預かる施設があり、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士などによるリハビリを保育園に通っている間に受けることができます。そうした子どもたちが小学生になっても利用できるよう、放課後等デイサービスも併設。障害のある子どもない子どもも必要な支援を受けながら、同じ環境で過ごすインクルーシブ保育により、子どもたちは幼い頃から多様性に触れながら成長しています。

『株式会社ハビリテ』の社員は、ほとんどが女性。障害児ママも多く、「社員にも自身の夢を叶

えてほしい」と実現させたい夢をリストアップし、互いに共有しています。その中で多かったのが「エステに行きたい」という夢。その夢を後押ししようと、理学療法士らが中心となって福祉や医療従事者向けエステサロンを開設。新しいことにチャレンジし続ける姿が、今回の受賞につながりました。

「私たちは“障害にまつわる絶望を希望に変えよう”と活動しています。そのためには保育現場に医療職の配置が必須。そのビジョンを共有し、多くの人に賛同いただけるよう、情報発信させていただきながら、周囲の理解を求めていきたいと思っております。今後ともどうぞよろしくお願いいたします」。



genkiちゃん



株式会社ハビリテ
徳島市中島田町4丁目53-1
TEL:088-679-7535
<https://habilita.hp.peraichi.com/yuzuriha/>

阿波女あきんど大賞 個人・グループ部門

株式会社日産サティオ徳島 経営管理グループ社長室採用・広報担当主任 近藤咲子さん



▲近藤さんは山川町出身。徳島大学を卒業後、新卒で『株式会社日産サティオ徳島』に入社し、営業を担当。「女性の営業さんの方が話しやすいと打ち解けて車の相談をしてくださるお客様や、支えてくれる仲間や上司のおかげで、今日の賞をいただけたと思います」という近藤さん。

▶2030年に株式会社日産サティオ徳島が目指すVISIONとSDGsを組み合わせさせたイラスト。子どもたちにもわかりやすく、VISIONに向け、社員一人一人がチャレンジしたくなるような1枚に。



株式会社日産サティオ徳島 徳島支店
徳島市応神町古川字日の上8
TEL:088-665-4551
<https://ns-tokushima.nissan-dealer.jp/>

前例のないことにチャレンジ 目指すは女性初の管理職

近藤さんが入社したのは今からちょうど10年前。女性営業職として活躍し、法人営業も担当。結婚し、産休、育休も取得。2022年に仕事復帰した近藤さんの歩みは、会社にとって初めてのことで、苦悩することも多かったと振り返ります。

「自動車業界は男社会。入社当時、女性の営業はいなくて、お客様から『車のこと、分かるん?』、『男性の営業マンがいい』などと面と向かって言われ、嫌な思いをすることもありました」。

結婚後、仕事を続ける女性社員も珍しく、産休・育休を取得したのも近藤さんが初めて。育休明けに時短勤務で仕事復帰すると「早く帰れていいな」など、子育てへの理解のない言葉に傷つき、ストレスが積み重なっていったといいます。

そんなとき、会社で受けたストレスチェックで「高ストレス判定」を受け、カウンセリングを受けることに。「もう仕事を辞めた方がいいかもしれない」と悩

んだ末に出した答えは、「子どもは親の背中を見て育つもの。息子にとって憧れの存在でいたい。そのためにはここでがんばり続けるのが近道」というものでした。

そこでパパママ社員を集め、社内の子育て環境を改善するためのワークライフバランス委員会を設立。活動を通して、子育ての喜びや悩みを共有し、周囲への理解も広まっているといいます。

仕事にも意欲的に取り組み、空き会議室を一般開放したシェアスペースサービス『Gruppo!!』の運営、徳島市との包括連携協定を含む行政との連携事業や全社員が集う社員総会の実施など、忙しくも充実し、やりがいのある1年間を過ごした近藤さん。

「前例がないことで、今の時代に沿った働き方が私からスタート出来たことは大きかったです。休みをしっかりと取り、時短勤務という限られた時間の中で効率的に業務を進め、キャリアアップしていくことが私の役目だと思っています」。

後輩のためにも女性初の管理職を目指そうと、日々邁進しています。

徳島市SDGs未来都市フォーラム

ダイバーシティ&パートナーシップで叶えるSDGsの未来

徳島市がSDGs推進の柱として掲げている「ダイバーシティ」と「パートナーシップ」によるまちづくりを進めるため、企業を中心に取組まれている多様性や官民連携の推進に関する事例を取り上げつつ、今後の展望について官民がともに考える「徳島市SDGs未来都市フォーラム」を、11月16日(木)にシビックセンター「さくらホール」にて開催しました。

アミコビルでインクルーシブカフェ「tabi no otomo」を運営されている榎本峰子さん、阿波女あきんど大賞を受賞し、本市と包括連携協定を締結している日産サティオ徳島で勤務されている近藤咲子さんから事例発表をいただき、お二人の事例を基にパネルディスカッションを行いました。



榎本峰子さん
(一社)旅の葉 代表理事
インクルーシブカフェ開設に至るまでの想いや解決したいと思っていた社会課題などについて発表されました。



近藤咲子さん
(株)日産サティオ徳島 主任
働く女性が抱える課題や解消に向けた企業の取り組み、徳島市との連携事業などについて発表されました。



パネルディスカッション要旨

- 行政頼みではなく、まずは自分が動くことが大切。
- 行政との連携により幅広い事業展開が可能になった。
- 企業がSDGsに取り組むことで人材確保につながる。
- 活動を続けるにはお金のことも考えることが必要。
- 頑張る企業や個人を応援できる行政でありたい。

CO₂削減チャレンジ事業所認定式



CO₂をはじめとする温室効果ガスの排出削減につながる活動に積極的に取り組む事業所を「徳島市CO₂削減チャレンジ事業所」として認定し、フォーラム内で認定式を行いました。

認定事業所一覧

- | | |
|---------------|---------|
| ○住宅設備アシスト(株) | ○論田小学校 |
| ○(株)イルローザ | ○不動小学校 |
| ○徳島トヨペット(株) | ○入田小学校 |
| ○(株)徳島データサービス | ○入田中学校 |
| ○(株)日産サティオ徳島 | ○上八万中学校 |
| ○喜多機械産業(株) | ○不動中学校 |

フォーラムの詳細については
こちらからご覧いただけます



子どもたちにSDGsの理念や具体的な行動について、体験しながら楽しく学んでもらえるイベント「SDGsこども未来チャレンジ」を、11月26日(日)に「とくしまマルシェ」の会場で開催しました。

多彩なステージイベントのほか、徳島市と包括連携協定を締結している企業によるSDGs体験ブース、電気で動くひょうたん島周遊船「HARMO艇」の無料試乗体験などの催しが実施され、多くの来場者でまちなかがにぎわいました。

出展いただいた企業の皆様



ステージイベント

ピアニスト・浅井久視子さんによる水上ピアノコンサートや千松小学校合唱部による合唱などのステージイベントが催され、多くの来場者でにぎわいました。



SDGs体験ブース

徳島市と包括連携協定を締結している企業がそれぞれの特色を活かし、工作やクイズ大会など、子どもたちがSDGsについて楽しく学べるブースを出展しました。



HARMO艇の無料試乗体験

ひょうたん島周遊船の脱炭素化に向けて実証運航中のHARMO艇の無料試乗体験では、たくさんのお子様たちとご家族の方が、電気で動く船の乗り心地を楽しまれました。
(注 実証運航は令和5年11月末で終了しました)



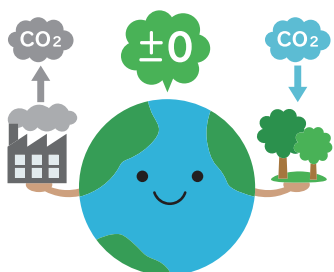
みんなでSDGs

使用済み歯ブラシとペットボトルキャップのリサイクルに向けた回収、リユース意識の向上を図るための取り組みとして「メルカリエコボックス」の配布を行いました。

徳島市ゼロカーボンシティ宣言

徳島市は、2050年までに温室効果ガスの排出量を実質ゼロにする「徳島市ゼロカーボンシティ宣言」を行いました。

今後、カーボンニュートラルの実現に向けて、再生可能エネルギーの活用や省エネ対策の推進などの取り組みを加速させます。



SDGsの達成に向けて
みんなで一緒に
頑張りましょうね!

